

ONE WEEK EXHIBITION
VOL.8 7-14, JANUARY, 2011 10:00AM~17:00PM
VOL.9 15-22, JANUARY, 2011 10:00AM~17:00PM

DADA
BA

MAGIC-REALISM

「Open Eyes Open Mind」
relation-program

『MAGIC-REALISM (マジック・リアリズム)』をテーマに掲げる本展は、ラテンアメリカ文学に代表されるマジックリアリズムの特徴である現実と非現実の融合を根本に据え、近接するシュルレアリスム、ノイエ・フォトなどへと集約した新即物主義、それらが繰り返し用いる現実味という感覚を、**トリミング/クローズアップ/ループ**をキーワードに作品を構成していきます。また本展は2012年に行われるアルゼンチンダバダのPRE-EVENTとしての意味を併せ持つものでもあり、アルゼンチンと日本の新たな文化国際交流を予感させるものとなるでしょう。

dabadaは

場所を特定してゆきます。

DAbADAは

美しく無いものです。

ダバダは

ダ場ダであり、ダダ+場です。

このたび群馬県を拠点に活動しておりますアーティスト **川松康徳**は下記の要項で展覧会「**GUNMA dabada**」を群馬県前橋市にあるライフアップスクエア アイズで行われる企画展『Open Eyes Open Mind』の関連プログラムとして、二週間に渡って企画・構成する運びとなりました。

「GUNMA dabada vol.8」

2011年エジンバラで行われたEDINBURGH dabadaにおいて、コーディネーターを務めたミリアム・ウォルシュを迎え、ロンドンで制作/活動する山本 章乃を含む4名のアーティストで構成されます。

「GUNMA dabada vol.9」

今年より新たに始まるダバダとアルゼンチンとの国際交流によって、アルゼンチンを中心に文化事業に携わる郷田 まみをコーディネーターに迎え、アルゼンチン アーティスト1名と、フランスを拠点に活動する若手アーティスト3名を迎えて行われます。

美術という形式がいまなお現代において意味を持ち得るのならば、それは媒体としての美術の有益性と言えます。「デュシャンの《泉》」によって、アーティストの思考と概念があらゆるものを美術化することが可能であると提示されたとき、それは美術の膨大な歴史と事実においてどのように意味を獲得し美しさを創出したかにあります。

www.kawamatsuyasunori.com/dabada/

会場	LIFE UP SQUARE EYES 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-35-3	
会期	2012年1月7日(土)ー14日(土)	2012年1月15日(日)ー22日(日)
出品作家	IRL ミリアム・ウォルシュ JPN ノーヴァヤ・リューストラ JPN 山本 章乃 JPN 山本 信幸 JPN 川松 康徳	FRA マリオン・オーレル FRA ソフィー・ナウリー FRA グレゴワール・ピュジャット ロレーヌ JPN 山本 章乃 ARG フアン・バブロ・マルトゥラーノ JPN 山本 信幸 JPN 川松 康徳

curated by
YASUNORI KAWAMATSU

directed by
NOBUYUKI YAMAMOTO

※御不明な点、ご質問はメールにて右記までご連絡下さい。

問合せ

contact@kawamatsuyasunori.com